

島原半島ジオパークリーフレット：火山と地質

島原半島はなぜ火山活動がこれほど活発なのか？

橘湾の海底深く小浜の町の西海岸の沖には、地球のマントルから立ち上がる大きなマグマだまりがあり、このマグマが地下で上方にまた東西に広がり、ガスを噴出し地下水を熱する。このマグマの流れによって島原半島の北部と南部が分断され、雲仙のような火山環境が生まれる。

島原半島はなぜ何度も地震にみまわれたのか？

島原半島は「断層」として知られる地殻の深い割れ目によって分かれている。この地殻変動が地震の主な原因となっている。しかし、島原の地震の中には、断層運動ではなく火山活動によるものもある。半島の中央部では、北の千々石断層と南の金浜断層の間で、プレートが離れてゆっくりと沈み込んでいる。二つの断層の間に沈み込む部分は「グラベン」と呼ばれ、ドイツ語で「溝」を意味する。

島原半島で最後に火山が爆発したのはいつか？

1990 年から 1995 年にかけて普賢岳が何度も爆発し、それにより生まれた溶岩ドームがやがて崩壊し下の谷に岩屑を滝のように落とした。この継続的な爆発は発生時の元号にちなみ平成噴火と呼ばれる。噴火により生じた熱いガスと岩屑の火砕流で 43 人が亡くなり、島原の町の何百という家屋や田畑が破壊された。1995 年までにこの噴火は終結し、新しく生まれた山は平成新山（1,483 m）と名付けられ、現在長崎県の最高峰となっている。

雲仙を訪問するのは安全か？

はい。平成噴火以来、先進的な監視装置システムが雲仙の山々をきめ細かく観察し続けており、またインフラの進歩により将来の噴火が引き起こす危険はかなり減っている。